

愛知学習センター オンライン公開講演会

発達障害の 人たちの ライフステージ& サポート



講師

相模女子大学
人間社会学部
人間心理学科

教授

にっと

ゆかり

日戸 由刈氏

開催日

2020年11月15日(日)

会場

YouTubeライブ配信
オンライン

時間

13:30~15:00
(接続開始13:00)

講演開始前日(11/14)に
リマインダーにて接続する
URLをお送りします。

申込
フォーム

放送大学愛知学習センターHP
公開講演会のお知らせより
お申し込みください。

定員

100名

参加費無料

主催



放送大学 愛知学習センター

放送大学は放送大学学園(文部科学省・総務省所轄)によって設置された正規の大学です。

お問い合わせ ☎052-831-1771

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町101-2中京大学センタービル4階

講師 相模女子大学 人間社会学部 人間心理学科 教授
日戸 由刈氏 (にと ゆかり)

講演内容

発達障害の人たちへの支援の重要性が、様々な領域からクローズアップされ、全国的に支援の場が整備されつつあります。しかしその多くが、今なお困ったときにやむを得ず駆け込んでくる方たちへの対応に追われているのが現状です。

発達障害の特性は、生涯を通じて存続します。ですから本来は、困ったときにだけ駆け込む場ではなく、子どもから大人に至るまで、いつでも気軽にサポートを受けられる場として機能することが必要です。

私は、長らく勤務した横浜市の療育施設で、幼児期・学齢期から成人期に至るまで、発達障害の人たちへのさまざまなサポートを実践してきました。そこで出会った人たちの中には、同世代の仲間同士での活動に参加する経験を重ね、自分を振り返り、困ったときには人に相談しながら主体的に進路を選択し、成人期以降も安定した社会生活を営んでいる方が少なくありません。たくさんの試行錯誤を経て大人になったご本人とご家族の姿から、私が教わった支援のエッセンスをお話したいと思います。

プロフィール

《専門分野》

公認心理師／臨床心理士／臨床発達心理士スーパーバイザー、博士(教育学)。

《略歴》

横浜市総合リハビリテーションセンター発達外来で20年間、心理職として幼児期から成人期までの発達障害の人たちの支援に携わった後、2013年4月より同センター児童発達支援事業所「ぴーす新横浜」園長に就任。2018年3月に同センターを退職し、同年4月より現職。

相模原市発達障害者支援地域協議会会長、横浜市教育委員会発達障害児等支援事業「専門家支援チーム」委員、日本公認心理師協会福祉分野委員会委員。

《著書》

- ・ 佐々木正美(編著) 諏訪利明・日戸由刈(著)「わが子が発達障害と診断されたら一発達障害のある子を育てる楽しみを見つけるまで」すばる舎(2011年)
- ・ 本田秀夫・日戸由刈(編著)「アスペルガー症候群のある子どものための新キャリア教育 一 小・中学生のいま、家庭と学校でできること」金子書房(2013年)
- ・ 藤野 博・日戸由刈(監修)「健康ライブラリースペシャル:発達障害の子の立ち直り力 一『レジリエンス』を育てる本」講談社(2015年)
- ・ 本田秀夫・日戸由刈(監修)「健康ライブラリースペシャル:自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 幼児・小学生編／思春期編」講談社(ともに2016年)
- ・ 本田秀夫・日戸由刈(監修)「健康ライブラリースペシャル:ADHDの子の育て方のコツがわかる本」講談社(2017年)